

打ちっぱなしコンクリートの再生・保護

株式会社バークス環境



施工前

10年経過した打ちっぱなしコンクリートの状態。黒カビ・汚だれが目立っている。



施工前

黒カビが付着すると見苦しい。



施工前

汚だれの状況。



高圧洗浄後

高圧洗浄で黒カビは完全に除去できるが、コンクリート表面は黒カビに浸食されて、粗面になり変色している。



爆裂箇所

鉄筋が錆で爆裂している。



爆裂箇所

浮き部を研り、鉄筋の防錆(セプター塗布)し、Sクリートアップを十分に塗布する。

Sクリートアップを塗布することでコンクリートの改質、緻密化、アルカリ性回復をし、補修モルタルとの接着増強をする。

Sクリートカラーにて色合わせ

株式会社バークス環境



同爆裂箇所

補修モルタルで再成形。



色合わせ

劣化による変色部や爆裂補修部の色合わせの為、**Sクリートカラー**を塗布する。

Sクリートカラーはシランシロキサン系の無機ペイント材です。半透明な塗料ですので、打ちっぱなしの風合いは損ねない。



同爆裂箇所

Sクリートカラーにて色合わせ後補修箇所は判別できなくなっている。

Sクリートガードを塗布し保護する

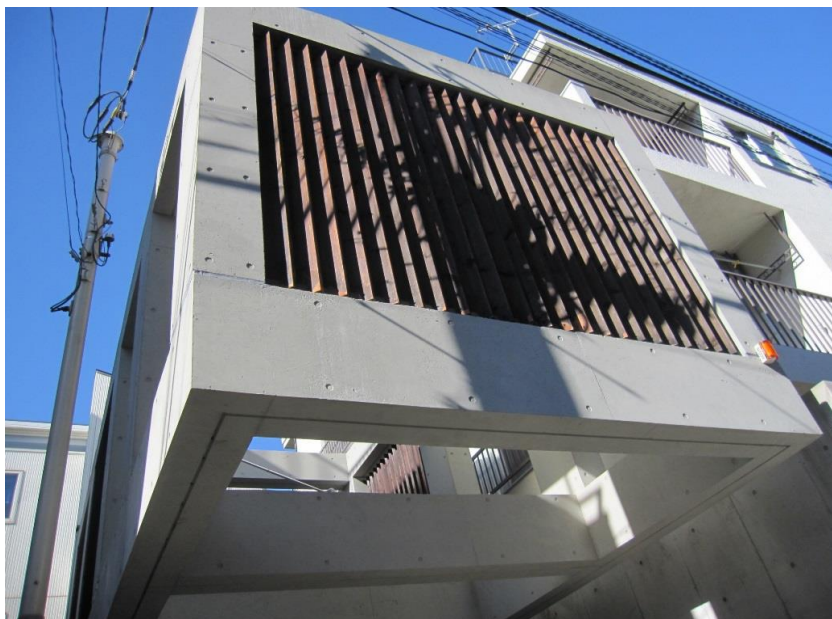
株式会社バークス環境



コンクリート保護

Sクリートガードを全体に塗布し、防水することでコンクリートを長期間保護する。

SクリートガードとSクリートカラーは同素材の為、相性が良く超撥水性になる。



施工終了

新築時の打ちっぱなしの状態に戻ります。

しっかりSクリートガードが撥水・防水するので、長期間コンクリートを保護して、美観も維持します。



施工終了